

文章の構成や論理の展開をとらえる

ねらい
・目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする力
・文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ力を付ける！

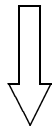
単元・授業の流れ

指導のポイント（留意点）

ア 見通しをもつ（意識化）

- 1 課題に対して自分の見通しをもつ。
2 学習課題を設定し、学習計画を立てる。

目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする力や文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ力を身に付ける単元であることを意識させる。
《手立て》
・学習計画・自己評価表で学習の見通しを示す。



身に付ける

イ 習得 ←→ ウ 活用

言語活動を通じた指導
（文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読む）

- 3 本文を通読する。
4 文章の構成と論理の展開をとらえる。
5 序論を読み取る。
6 結論を読み取る。
7 筆者の意見を要約し、それに対する自分の考えをまとめる。
8 本論を読み取る。
9 筆者の伝えたかったことを考える。
10 本文に出てこない「未来をひらく微生物」について、図式化したり文章化したりする。

本文の説明の仕方を利用して、「未来をひらく微生物」を図又は文章で説明する。
（習得↔活用）
・「未来をひらく微生物」の構成や論理の展開に気付かせる。
・「未来をひらく微生物」の筆者の意見を要約し、それに対する自分の考えをまとめさせる。
・筆者の言いたかったことを考えさせる。
・「微生物」を題材にし、本文の説明の仕方を利用して、図式化したり、文章化したりして表現させる。
《手立て》
・本文の要約や表現の特徴を読み取る際に、スモールステップによる学習活動を行う。
・ワークシート、学習の手引き、学習プリント等、学習活動を補助する資料を活用する。



エ 振り返る（定着）

- 11 書いた図表や文章を自己評価する。
12 意見交流会を行う。
13 学習のまとめをする。

書いた図表や文章を基に意見交流をさせることで、図表と文章との関連が理解できているか確認する。
《手立て》
・ふせんや意見交流シートを活用して、全体での意見交流会を行う。
・学習計画・自己評価表で単元の学習を振り返る活動を行う。